

坂総合病院 NEWS

ご自由にお持ちください

特集 先生に聞いてみよう
坂総合病院のこと。



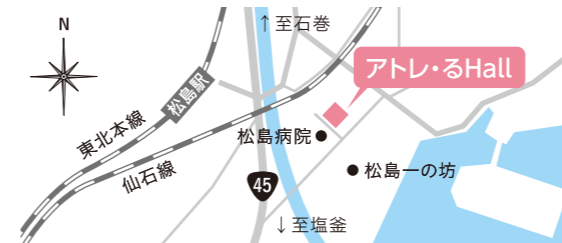
2018.2 Vol.28

お知らせ

坂総合病院市民公開講座を開催します

今回のテーマは「がんのはなし」。松島町の方はもちろん、近隣にお住まいの方もぜひご参加ください。

- 日時: 2月10日(土) 10:00 ~ 11:30
- 場所: 松島町文化観光交流館「アトレ・るHall」2階和室
(宮城郡松島町磯崎字浜1-2)
- 参加費: 無料(事前申し込み不要)
- 問合せ: 022-365-5175(代)



病院広報誌をリニューアルしました!

より親しんでいただける誌面に!



今月号より「坂総合病院NEWS」を一新いたしました。さまざまな病気について深くご紹介する特集をはじめ、スタッフにもスポットを当て、坂総合病院についての特色を深くお伝えしてまいります。なお、今回の号から2ヶ月ごとの発行です。これからもご愛顧のほどよろしくお祈いします。

診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただきご確認をお願いいたします。

コールセンター **022-361-8288**

- 平日 8:30~16:30 (小児科のみ8:00~)
 - 土曜 8:30~11:30 (小児科のみ8:00~)
- ※日曜・祝祭日、年末年始(12/30~翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 <https://www.m-kousei.com/saka/>

編集後記

2月号より誌面をリニューアルしました。いかがでしょうか? これからは病院の診療内容だけではなく、スタッフ個々人にも焦点を当ててお伝えしていきます。次は4月にお送りします。お楽しみに!(S・H)



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

坂総合病院NEWS 坂総合病院 広報誌
2018年2月1日発行

公益財団法人宮城厚生協会
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】 Tel 022-365-5175(代)



……
毎回特集内容を変え、
病気や病院のあれこれを発信。
今回は、「坂総合病院」について
深くご紹介します。

特集

先生に
聞いてみよう

坂総合病院 のこと。



塩釜市を中心に地域の
医療を支える坂総合病院。
適切な治療と高度な技術で
人々を支えています。
そんな病院の強みや魅力は
どんなところだろう。
坂総合病院 院長
内藤 孝先生に聞きました。

内藤 孝 (ないとう たかし)

坂総合病院 院長。「患者さんと時間をかけて向き合いたい」という理由から内科医を志す。1985年に東北大学医学部卒業後、坂総合病院に勤務。専門である糖尿病治療に尽力し、坂総合クリニック所長などを経て2014年より現職。

おしえて
先生



Q 坂総合病院の強みは？

スタッフ間や診療科ごとの垣根が低いので、素早い連携が取れることですね。今では当たり前になったチーム医療にも当院は早い時期から取り組んでいました。



Q 地域医療の質を高めるために行っていることは？

当院だけ技術を底上げしても十分ではありません。近隣の医療機関と一緒に勉強会を行うなどの交流を図ることで、地域全体のレベルアップに貢献できたらと思います。



Q これからの坂総合病院の役割とは？

まずは周辺の医療機関と連携を図ること。そして地域全体でひとつの病院となるような「地域完結型医療」を目指し、当院ができることを果たしていきたいです。



Point 一人ひとりに平等な 医療を提供していく

当院の基本理念は、経済的・社会的な要因に関わらず、すべての人に必要な医療を届けること。当院は差額ベッド料をいただいておらず、医療費でお困りの方へは無料低額診療を行っています。また「地域医療支援病院」に指定されていることもあり、開業医の先生からいただいた紹介を受け入れながら地域一体となった医療の提供を目指しています。近年では東日本大震災での経験を踏まえ、大規模災害時に速やかに患者さんを受け入れることができる「災害拠点病院」としての役割も果たそうと努めているところです。そして高齢者の方には、より安心して治療に通っていただける環境をつくっていききたいと考えています。

Point どんな時も求められる 病院であるために

そして高度な技術や設備が提供できることも大きな強みです。

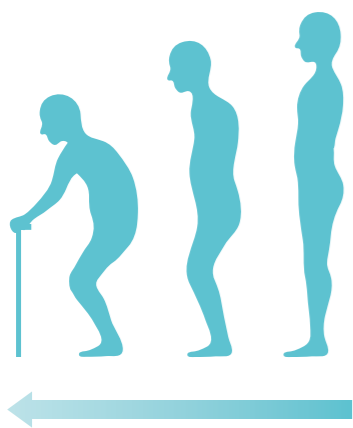


ガンの診療では手術や緩和ケア、在宅での往診を通してどんなステージにも対応できる体制を担ってきましたし、2015年には夜間に救急車を受け入れられる救急病棟を新設しました。また、心筋梗塞などの診断ができる心臓カテーテル検査の機械を増やし、緊急性を要する病気の治療にも万全の体制をとっています。このほか、さまざまな症例に対応した急性期のリハビリも当院の看板といえますね。これからも安全で質の高い医療を提供できるように、努力を重ねていきたいと思っています。

重力に負けない 身体づくり

佐藤 勇輔 (さとう ゆうすけ)

リハビリ室所属 理学療法士



年齢を重ねると左図のような姿勢の経過を辿ることが多いですが、これは地球の重力に抵抗する力が衰えるため。なかでも高齢者に多い「猫背」は、膝が屈曲し、骨盤が後傾することから背中にある脊柱起立筋やお尻部分の大殿筋などの筋力が低下。合わせて関節の可動域が制限されることもあり、身体への悪影響が懸念されます。そこで有効なのが、①胸を張るような深呼吸 ②バンザイ ③立ち上がり ④爪先立ちなどの運動を行うこと。もちろん歩くことも有効な手段です。まずは、1日に5回や5分といった頻度で行なってみましょう。重力に負けない身体づくりを、今日からできる範囲で少しずつ。継続は力なりです！

栄養手帖 ■ -食養室だより-

お米を食べよう！

毎日の食事に欠かせないお米。健康を支えるパワーの理由を紹介します。

玄米が気になる！

玄米は稲から「もみ殻」を取り除いたもの。そのため、食物繊維やカルシウム、ビタミンB1・B6、ナイアシンなどを豊富に含む「ぬか」と「胚芽」も摂取することができます。



おすすめは“発芽玄米”

玄米の胚芽を発芽させた発芽玄米。発芽するときに酵素が働き、玄米より栄養価が高くなります。さらに玄米よりも口当たりがよく食べやすいという利点もありますよ。



鈴木 亜紀 (すずき あき)

食養室所属 管理栄養士



お米の魅力とは

主な栄養素は身体に不可欠な炭水化物。タンパク質やビタミン、ミネラルなども含まれています。ゆっくりと消化されるので腹持ちがよく、満腹感が得られやすいのも特徴です。実は、お米の脂質はごくわずか！塩分を含まず、身体にうれしい食材です。



支えるひとたち

第1回 地域医療連携センター



坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

地域の中で高度な医療技術を提供する「地域医療支援病院」に認定された坂総合病院。2015年2月には、入退院管理の強化と地域医療連携の推進を目的とした「地域医療連携センター」が設置されました。米田さんはこのセンターの入退院支援課課長。医療の道21年のベテランです。新設のセンターとあり、業務は部署の構築からスタート。「病院としても新たな取組みでしたし、私自身も患者さんの退院先を検討する「退院調整」の仕事をした経験がほとんどなく不安な毎日でした」。しかし試行錯誤のなかで、米田さんたちの支援は患者さんが思う希望通りの退院を叶えていきます。そしてそれが、大きなやりがいにつながっているのだそうです。「これからも患者さんが住み慣れた地域で、安心して療養できるように取り組んでいきたいですね」

次号は

〈地域医療連携室〉
阿部 良子



退院調整は看護師や医療ソーシャルワーカーなどと一緒に検討。患者さんの要望を聞きながら、じっくりと話し合っていきます。



米田 和子 (よねだ かずこ)
地域医療連携センター
入退院支援課課長



院長
田中 庸二 先生
(たなか ようじ)



整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

**コソコソクリニック
多賀城整形外科**

〒985-0853 多賀城市高橋4-20-5

TEL 022-762-8806

FAX 022-762-8807

URL <http://www.5252clinic.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00 - 12:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00 - 18:00	○	○	○	○	○	○	○

休診日/木・日曜、祝日

※土曜日の診療時間は、9:00~14:00まで



連携医のご紹介
**コソコソクリニック
多賀城整形外科**

[整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科]

多賀城市高橋にある当院は、2012年11月に開院しました。診療は骨折や捻挫といった整形外科の症例だけでなく、切り傷や火傷などの外傷にも幅広く対応しています。さらに、専門医資格を有しているリウマチでは有効性が高い生物製剤による治療を行うほか、脊椎・四肢関節の変性疾患では適切な時期に手術ができるよう高次医療機関へのご紹介も可能です。リハビリも当院の要ですね。整形外科医の診断根拠に基づいた「運動器リハ」や、充実した設備を配置した「短時間通所リハビリ（デイケア）」

ではいきいきとした老後と送るための「介護予防リハ」を行なっています。団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」が注目されるなか、特に力を注いでいるのは骨粗鬆症の診療です。クリニックではありますが、詳細な骨密度を測定できる「全身型骨密度測定器」を備え、正確な診断と治療を行っていると自負しています。すべては、一人ひとりが抱えている骨への不安を安心に変えるため。これからも最良の治療で地域のみなさまを支えていきたいと思えます。

地域医療への貢献を目指して

副看護部長の仕事では、人事や総務、教育を担当するだけでなく地域医療連携センターやクリニックの責任者の役割も担っています。認定看護師は看護の質を高めるための指導や実践はもちろん、スタッフから相談を受けることも大切な業務のひとつです。私たちが目指すのは、職員一人ひとりの看護観を拾い上げながら、やりがいを持って働くことができる職場づくり。最近ではスタッフ同士の会話からよりよい職場の雰囲気をつくるシステム「HTT.Biz」を取り入れ、業務や職場環境についてスムーズな問題解決・改善ができるよう支援しています。また、女性が多い職場なので、結婚や出産などを経ても働き続けられる制度を新設しました。

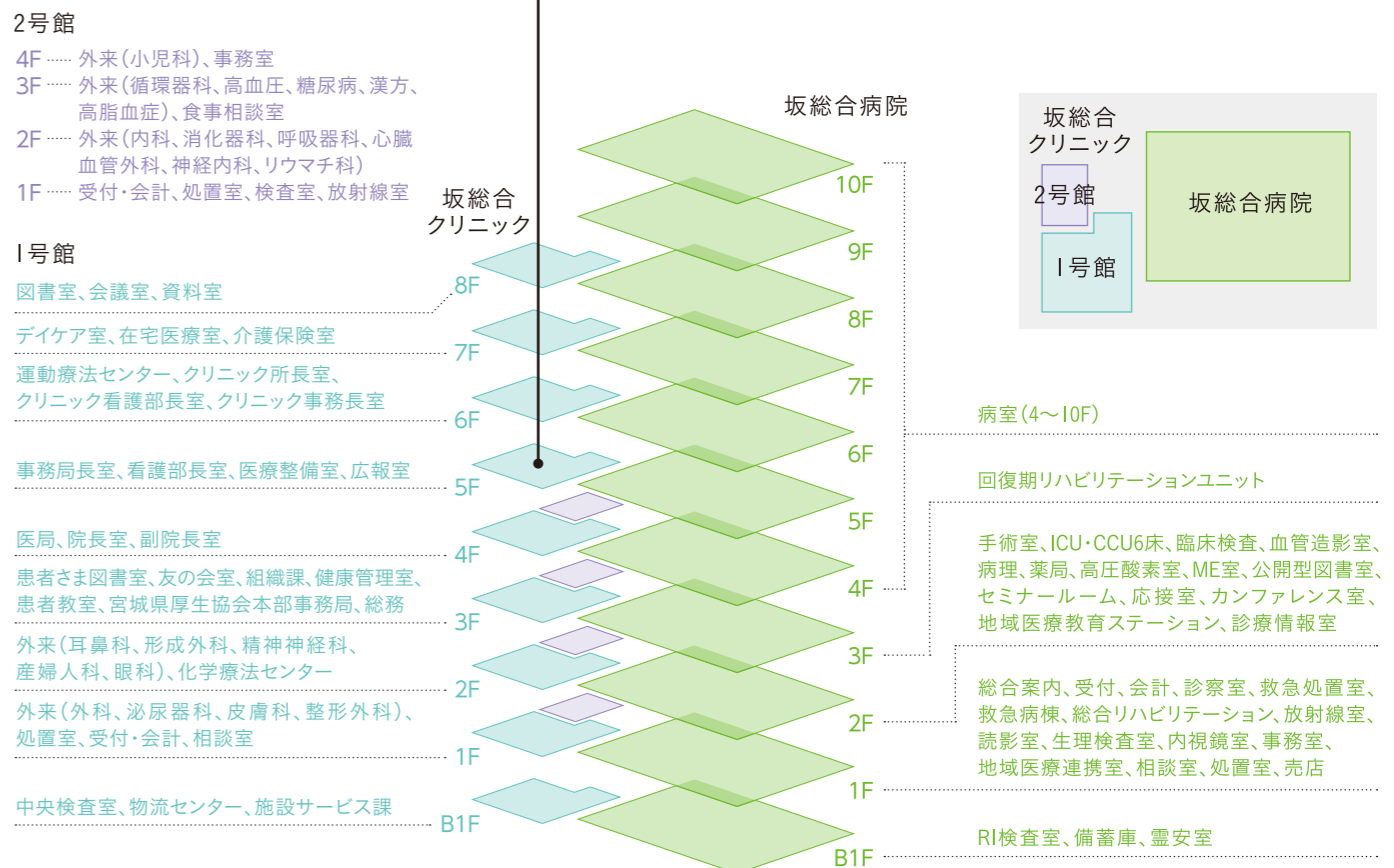
今後は近隣のみなさんが安心して暮らせるよう、さまざまな医療・福祉機関、行政と連携していきたいと思えます。

看護部長室 副看護部長 **伊藤 佳子**
(いとう よしこ)



看護部長室は病院と看護部全体の責任部署として、病院方針に基づいた業務が適切に行われているかの管理・指導を行っている部署です。看護部長をトップに、副看護部長4名、皮膚排泄ケア、認知症看護、緩和ケアを行う専従認定看護師3名の計8名が働いています。

**職場紹介
看護部長室**



坂総合病院から

田中先生は当院で初期研修を行い、整形外科専門医として活躍してくれました。独特の関西弁と憎めない人柄で看護師たちから親しまれていました。そんなゆかりのある先生が当院の近隣に開業されたことはとても心強いですね。特色ある取り組みは興味深く、今後さらに連携を深めていきたいと思っています。